

# がん・生殖医療連携会議

## /Oncofertility Consortium JAPAN 2016 Meeting準備会議

平成28年度厚生労働科学研究補助金（がん対策推進総合研究事業）  
総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究

H27-がん対策-一般-005

班長：国立名古屋医療センター臨床研究センター長 堀部敬三先生

## がん・生殖医療連携の現状 —北海道—

馬場 剛  
札幌医大産婦人科



### 生殖小班

聖マリアンナ医科大学医学部  
岐阜大学大学院医学系研究科  
岡山大学大学院保健学研究科  
長崎大学医学部附属病院  
滋賀医科大学医学部  
埼玉医科大学総合医療センター  
岐阜大学大学院医学系研究科

- 産婦人科学
- 産科婦人科学分野
- 生殖医学
- 産婦人科、生殖内分泌学
- 産婦人科学
- 産婦人科学
- 産科婦人科学分野

鈴木 直  
古井 辰郎  
中塚 幹也  
北島 道夫  
木村 文則  
高井 泰  
森重健一郎

# はじめに

## —北海道の地理的条件—



40歳未満の女性、約100万人のうち札幌に40万人が集中  
⇒87人/年(札幌:35人/年)の若年がん患者が発生する計算になる。

# 施設間連携の確立にむけて

- ・2012年3月にIRB申請⇒9月に承認
- ・当初は血液内科医と共同研究の形でスタート



2012年12月、1例目の卵巣凍結を施行  
(原疾患:MDS、BMT施行のため)



院内説明会(対象:乳腺外科医、がん看護専門看護師)

血液内科医による研究会での紹介

道内のラジオ番組で紹介

# 連携病院

## 札幌市内

- ・北海道大学(小児科、血液内科)
- ・札幌医科大学(腫瘍内科、乳腺外科)
- ・北海道がんセンター(婦人科、乳腺外科)
- ・札幌北榆病院(血液内科)
- ・時計台病院(婦人科)
- ・市立札幌病院(乳腺外科)



市立旭川病院(乳腺外科)

旭川

北見

札幌

岩見沢

北見赤十字病院(小児科)

帯広

帯広厚生病院(婦人科)

函館

12例の組織凍結

# ネットワークの運営体制(1)

紹介先の主な施設	各施設が独自に運営 ・札幌医科大学産婦人科 ・斗南病院 ・札幌厚生病院 ・神谷レディースクリニック（卵子のみ）
紹介方法	医師間の電話連絡→FAX
がん診療施設からの統一された情報提供書式	なし
県外からの紹介	まれ
妊孕性温存実施施設	紹介先と同一
ネットワーク運用資金	研究費
ネットワークHome Page ・開設資金	なし

札幌への施設集中

## ネットワークの運営体制(2)

妊孕性温存に関する 情報提供内容	独自資料あり
症例の情報	各施設で管理
施設間の交流方法 (患者紹介以外)	特になし
行政の関与	なし
ネットワークの特徴	各施設が独自に運営
ネットワークの課題	運営施設間の連携、行政の関与、施設内の体制 施設の偏在 (別に記載)

# 施設内の課題

手術部の体制：臨時手術を組みにくい状況  
専任スタッフの確保：日常業務を圧迫  
診療科による意識の違い  
年齢制限について